

類別：機械器具 83 医療用物質生成器
管理医療機器 一般名称：連続式電解水生成器(JMDNコード 71024000)

レベラックSD501

【警告】

本製品は重量物であり、化学的な物質を生成することから
1.製品の転倒による人身への損傷や製品及び製品周辺物の損壊
2.酸性電解水生成時に発生する塩素ガスによる中毒
等の危険があります。以下の事を必ずお守りください。

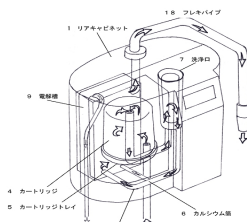
- 1) 本体の上に物を置かないで下さい。故障又は、落下事故の原因となることがあります。
- 2) 吐水ホースはふさがず、ネジレ、折れのないことを確認ください。(水漏れ又は電解に支障をきたすことがあります。)
- 3) 吐水ホースは本体より上に設置しないでください。本体内部の残水排出ができなくなります。
- 4) 閉め切った狭い部屋での使用は避け下さい。

【禁忌・禁止】

- 1.医薬品をアルカリ性電解水で併飲しないでください。
- 2.じん（腎）不全、カリウム排泄つ（泄）障害などのじん（腎）疾患の人は飲用しないでください。

（J I S T2004：2018 より）

【形状・構造及び原理等】



（１）構成

本体 外郭：フロントキャビネット、リアキャビネット、フロントカバー

水系統：水管、カルシウム筒、浄水カートリッジ、カートリッジトレイ、電解槽、給水/排水ホース

電気系統：電源マイコン制御基板、AC入力、操作スイッチ、LCDモジュール、トランス、流量センサ、熱水センサ

付属品：pH試験液、pH試験紙、分岐栓、フレキパイプ、グリセロリン酸カルシウム、電解促進剤、吐水スタンド、取扱説明書 保証書

（２）本体の寸法及び重量

寸法：幅 264×高さ 306×奥行き 171 (mm)

重量：約 6.0 kg (浄水カートリッジを含む)

（３）電氣的定格値

- ・定格電圧 AC100V
- ・定格周波数 50/60Hz
- ・定格入力電流 2.3A
- ・感電に関する保護の形式 クラスⅠ機器
- ・有害な水の浸入に対する保護等級 IPX1

（４）動作原理

水を電気分解して、アルカリ性電解水及び酸性電解水を生成する家庭用に設計された機器であり、水道などに直結し、流水過程において、カルシウムイオンを含んだ飲用適の水を電気分解して飲用のアルカリ性の生成水及び飲用外の酸性の生成水を生成する。

【使用目的、効能又は効果】

胃腸症状改善のための飲用アルカリ性電解水を生成する。

【品目仕様等】

機器は、JISC9335-2-207：2009の5.102に記載の水（水温 $20\pm 5^{\circ}\text{C}$ 、電気伝導度 $200\pm 50\mu\text{S/cm}$ の水）を用いて、 $\text{pH}9.5\pm 0.3$ のアルカリ性電解水、及び $\text{pH}5.5\pm 1.0$ の酸性電解水を生成する。

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用の準備

- ① 蛇口に分岐栓を取り付ける。
- ② 付属品のフレキパイプを本体上部の所定の位置に取り付ける。
- ③ 給水ホースを分岐栓に取り付け、排水ホースを流し台シンク部に配設する。
- ④ 平らな場所に出来るだけ水平となるように本体を設置する。
- ⑤ ACコードのプラグをコンセントに確実に差し込む。

2. 一般的操作方法

- ① 電源スイッチを押すとLCDが点灯する。
- ② カンゲン水の強・中・弱または、サンセイ水、浄水のモードをモード切替スイッチにより選択する。
- ③ 専用分岐栓の切替えを「浄水」位置にあわせる。
- ④ 蛇口を開ける。カンゲン水モードの場合はフレキパイプより弱アルカリ性電解水が吐出する。

取扱説明書を必ず参照してください。

サンセイ水モードの場合には、フレキパイプより酸性電解水が吐出し、ブザー音が鳴る。浄水モードの場合には、フレキパイプより浄水が吐出する。

⑤ 水道の蛇口を閉めると、吐出が止まり待機状態に戻る。

⑥ 使用終了時には、電源スイッチを再度押して電源を切る。LCDが消灯する。

3. アルカリ性電解水のpH値の確認

カンゲン水強（アルカリ性電解水）を付属のpH試験液セットの専用カップに深さ2cm程度とり、付属のpH試験液を1～2滴加えてよく混ぜ合わせ、直ちに付属の比色紙表を用いて比色してpH値を確認する。

4. 洗浄機能

カンゲン水・サンセイ水の使用時間が積算15分以上並びに24時間以上使用しなかったときには30秒間電気分解の極性を反転し電解槽の洗浄を行う。

いずれの場合もブザー音とLCDによる表示にて洗浄中であることを知らせる。

5. 故障した場合の取扱い方法

故障した場合は勝手にいじらず販売店もしくは㈱エナジックインターナショナル大阪工場にご連絡下さい。

6. 長時間使用しない時の機器の取扱い

設置後数日間以上使用しなかった場合は30秒以上水を流してから使用してください。

7. お客様が行う、機器の清掃、点検、保守

① 浄水カートリッジは1年に一度交換下さい。

② 水の電気分解を補助する為にカルシウムを原水に添加する場合には、フロントカバーを開けカルシウム筒を取出して付属のカルシウム剤を入れ、キャップを閉めカルシウム筒とフロントカバーを元と同じ所定の位置に取り付けてください。

【使用上の注意】

(1) カンゲン水強（アルカリ性電解水）を飲用に用いるときは、pH9.5を適値とし、pH10以上は飲用不可であり直接飲用しないでください。

(2) サンセイ水（酸性電解水）は飲用しないで下さい。

(3) 次の場合は医師に相談してご使用ください。

① 飲用して身体に異常を感じたとき、又は飲用し続けても症状に改善が見られないときは飲用を中止し、お医者様に相談してください。

② お医者様の治療を受けている人、特にじん（腎）臓に障害のある人及び、身体に異常を感じている人は飲用前にお医者様に相談してください。

③ 肌の弱い人及びアレルギー体質の人はサンセイ水（酸性電解水）を使用する前にお医者様にご相談ください。

④ サンセイ水（酸性電解水）を用いて肌に異常を

感じたときは、使用を中止してお医者様にご相談ください。

(4) カンゲン水強（アルカリ性電解水）を飲用に用いるとき、使用開始時と、その後1か月に1回以上、比色法によってpH値を確認し、飲用範囲であることを確認してから飲用ください。

(5) 機器に供給する水は、飲用に適した水導水を使用ください。

(6) 電解促進液、グリセロリン酸カルシウム等補助剤を使用する場合は、指定されたものを使用し、添加量、添加場所をお守りください。

(7) 指示薬溶液及びpHの確認に使用した生成水は飲まないように願います。

(8) 初めて飲用する方は、pHの中性に近い範囲で、少量から飲用ください。カンゲン水強（アルカリ性電解水）の飲用量は、1日当たり500～1000mL程度を適量として使用ください。

(9) 機器の分解、修理、改造を絶対に行わないでください。

(10) コードをもって引き抜くなどコードの接続部に無理な力をかけないでください。

(11) 生成水は生成後速やかにご使用ください。

(12) 生成水の保存方法及び保存日数は取扱い説明書に従ってご使用ください。

(13) 生成水の保存に適さない容器（取扱い説明書記載）には保存しないでください。

【取扱い上の注意】

(1) 消耗品、試薬残留物、及び寿命の終わった機器、及び附属品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄願います。

【保守・点検に係る事項】

故障又は異常が認められた時は勝手に分解修理を行わず下記製造販売業者にご連絡ください。

【包装】

本体 : 紙製ダンボールによる包装

付属品 : 紙製ダンボールによる包装

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 : 株式会社エナジックインターナショナル
大阪

住 所 : 〒576-0017 大阪府交野市星田一丁目
40番1号

フリーダイヤル : 0120-84-4132

製造業者 : 株式会社エナジックインターナショナル
大阪工場

住 所 : 〒576-0017 大阪府交野市星田北一丁目
40番1号

販売業者（販売店）の連絡先